



testo 175
データ・ロガ

取扱説明書



1. 目次

1.	目次	3
2.	はじめに	4
	2.1 説明書について	4
	2.2 安全上のご注意	5
	2.3 環境の保護	5
3.	概要	6
	3.1 機能概要	6
	3.2 テクニカル・データ	7
4.	初期操作	13
	4.1 データ・ログのロック解除	13
	4.2 バッテリーの挿入	13
	4.3 データ・ログとPCの接続	14
5.	ディスプレイとGOボタン	15
	5.1 ディスプレイ	15
	5.2 LED	18
	5.3 GOボタンの機能	19
6.	データ・ログの使用法	20
	6.1 センサの接続	20
	6.2 データ・ログのプログラミング	20
	6.3 メニューの概要	21
	6.4 壁掛けブラケットの取付け	24
	6.5 データ・ログの保護	24
	6.6 計測データの読み出し	25
7.	データ・ログのメンテナンス	26
	7.1 電池の交換	26
	7.2 データ・ログのクリーニング	27
8.	トラブルシューティング	28
	8.1 トラブルシューティング	28
	8.2 アクセサリとスペア・パーツ	29


2. はじめに

2.1 説明書について

使用法

- > ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。特に、人が傷害を負ったり、製品の損傷を防止するため、安全上のご注意や警告などは必ずお読みください。
- > この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。
- > この説明書は、製品とともに後任担当者に必ずお引継ぎください。

本書で使用している文字や記号の意味

文字・記号	説明
	警告/注意とその意味： 警告! この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。 注意! この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が発生することが想定される内容を示しています。
i	重要情報：このマークが付いた説明は、取り扱い上の注意や重要事項に関する説明です。
1. ... 2. ...	操作：番号に従って決まった順序で行う操作です。
> ...	操作：単独の操作あるいはオプションの操作です。
- ...	操作結果を示します。
Menu	ソフトウェアによりディスプレイ上に表示される文字や記号などを表します。
[OK]	プログラム・インタフェース用ボタンを表します。
... ...	メニュー内の機能/パスを示したものです。
"..."	入力値の例を、引用符で囲んで示します。

2.2 安全上のご注意

- > テクニカル・データに記載されている限度内の計測にご使用ください。無理な力を加えないでください。
- > 通電部品の上や近辺では、データ・ログによる計測を絶対に行わないでください。
- > 計測を始める前に、各接続口にブランキング・プラグあるいは適切なセンサが接続されているかチェックしてください。そうでない場合は、テクニカル・データに記載されている保護クラスは保証されません。
- > 175 T3でのセンサ入力は相互に電氣的絶縁が行われていません。したがって、絶縁されていない熱電対表面センサを使用するときは、ご注意ください。
- > 熱せられたセンサ・チップやプローブ・シャフトで火傷しないよう、計測終了後はプローブやそのシャフトを充分冷ましてください。
- > 温度に関する計測範囲データはセンサ部分にのみ適用されます。したがって、その他の部分(ハンドルやケーブル部)は、特に表記がない限り70°C以上の環境にさらさないでください。
- > この取扱説明書に記載されている事項を守ってメンテナンスや修理を行ってください。また、testo純正部品を必ずご使用ください。
- > 機器を汚染された環境(例:ダストが多い、異物付着、化学物質の揮発する環境等)で使用しないでください。

2.3 環境の保護

- > 使用済み電池を廃棄するときは、所管自治体の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。
- > 本製品を廃棄する場合は、所管自治体の電子部品あるいは電子製品の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。

3. 概要

3.1 機能概要

testo 175データ・ログを使用すると、温度や湿度の計測あるいは一連の計測データのロギングや読み出しが行えます。

testo 175により、計測データを保存したり、あるいは、USBケーブルまたはSDカードなどを介してPCへ転送し、testo ComSoftソフトウェアを使用して読み出し、解析などが行えます。このソフトウェアを使用すると、データ・ログのプログラミングも可能になります。

アプリケーション例

testo175 T1 および testo175 T2は、冷蔵庫、冷凍庫、冷蔵室、冷蔵保管庫などの温度計測に最適です。

testo175 T3は同時に2つの温度計測と記録が可能です。したがって、例えば、ヒーティング・システムの送風口温度と吸気口温度の監視などに最適です。

testo175 H1は、倉庫、オフィス、製造現場などの環境状態の監視に最適です。

3.2 テクニカル・データ

testo 175 T1 (0572 1751)

項目	仕様
計測項目	温度(°C)
センサ・タイプ	NTC 温度センサ
計測範囲	-35 ~ +55 °C
精度	±0.4 °C (-35 ~ +55 °C) ±1 デジット
分解能	0.1 °C
動作温度	-35 ~ +55 °C
保管温度	-35 ~ +55 °C
電池タイプ	3 × 単4型乾電池、3 × 単4型低温用リチウム電池
電池寿命	3年(計測間隔: 15分、+25 °Cの環境で)
保護等級	IP 65
寸法mm(L×W×H)	89 × 53 × 27 mm
重量	130g
ハウジング	ABS/PC
計測間隔	10秒 - 24時間(自由に選択可能)
インターフェース	Mini-USB、SDカード・スロット
メモリ容量	1,000,000データ
EU 指令	2014/30/EU、EN12830 ¹ ガイドラインに適合。

¹ EN 12830規格によれば、本データ・ログは、EN 13486に規定されている定期的な検査と校正が必要です。(推奨頻度:年1回) 詳細はtesto社にお問い合わせください。

testo 175 T2 (0572 1752)

項目	仕様
計測項目	温度(°C)
センサ・タイプ	NTC 温度センサ、内蔵および外付け
計測範囲	-35 ~ +55 °C (内蔵) -40 ~ +120 °C (外付け)
精度	±0.5 °C (-35°C ~ +55°C) ±1 デジット ±0.3 °C (-40°C ~ +120°C) ±1 デジット
分解能	0.1 °C
動作温度	-35 ~ +55 °C
保管温度	-35 ~ +55 °C
電池タイプ	3 × 単4型乾電池、3 × 単4型低温用リチウム電池
電池寿命	3年(計測間隔: 15分、+25 °Cの環境で)
保護等級	IP 65
寸法mm(L×W×H)	89 × 53 × 27 mm
重量	130g
ハウジング	ABS/PC
計測間隔	10秒 - 24時間(自由に選択可能)
インターフェース	Mini-USB、SDカード・スロット
メモリ容量	1,000,000データ
EU 指令	2014/30/EU、EN12830 ² ガイドラインに適合。

²EN 12830規格によれば、本データ・ログは、EN 13486に規定されている定期的な検査と校正が必要です。(推奨頻度:年1回) 詳細はtesto社にお問い合わせください。

testo 175 T3 (0572 1753)

項目	仕様
計測項目	温度(°C)
センサ・タイプ	2ch 熱電対(タイプKまたはT)外付け
計測範囲	-50 ~ +400 °C(タイプT) -50 ~ +1000 °C(タイプK)
精度	±0.5 °C(-50 ~ +70 °C) ±1 デジット 計測値の±0.7% (+70.1 ~ +1000 °C) ±1 デジット
分解能	0.1 °C
動作温度	-20 ~ +55 °C
保管温度	-20 ~ +55 °C
電池タイプ	3 × 単4型乾電池、3 × 単4型低温用リチウム電池
電池寿命	3年(計測間隔: 15分、+25 °Cの環境で)
保護等級	IP 65
寸法mm(L×W×H)	89 × 53 × 27 mm
重量	130g
ハウジング	ABS/PC
計測間隔	10秒 - 24時間(自由に選択可能)
インターフェース	Mini-USB、SDカード・スロット
メモリ容量	1,000,000データ
EU 指令	2014/30/EU

testo 175 H1 (0572 1754)

項目	仕様
計測項目	温度(°C)、 湿度(%rH/°Ctd/g/m ³)
センサ・タイプ	NTC 温度センサ、 静電容量湿度センサ
計測チャンネル数	2 c h 内部(スタブ)
計測範囲	-20 ~ +55 °C -40 ~ +50 °Ctd 0 ~ 100% r H(結露なきこと) ³
精度 ⁴	±2 % r H(2 ~ 98 %rH) (+25 °Cの時) ±0.03 % r H/K±1 デジット ±0.4 °C(-20 ~ +55 °C) ±1 デジット
通常の条件下での センサの長期的傾向	1 % r H/年(周囲温度 +25 °Cの時)
使用条件	周囲環境に有害なガスが含まれる場合、最大許容濃度を超えないものとします。高濃度の有害ガス(アンモニア、過酸化水素など)はセンサに損傷を与えることがあります。
分解能	0.1 % r H、0.1 °C
動作温度	-20 ~ +55 °C
保管温度	-20 ~ +55 °C
電池タイプ	3 × 単4型乾電池、3 × 単4型低温用リチウム電池
電池寿命	3年(計測間隔: 15分、+25 °Cの環境で)
保護等級	IP 54
寸法mm(L×W×H)	149 × 53 × 27 mm

³長時間に亘るシステム内の結露は、測定機器に損傷を与えることがあります。⁴焼結蓋の使用はセンサの応答時間に影響を与えることがあります。

項目	仕様
重量	130g
ハウジング	ABS/PC
計測間隔	10秒 - 24時間 (自由に選択可能)
インターフェース	Mini-USB、SDカード・スロット
メモリ容量	1,000,000データ
EU 指令	2014/30/EU

バッテリー寿命

ソフトウェアのプログラミング・ウィンドウにはバッテリーの残容量が表示されます。バッテリーの残り寿命は次の要素を加味して計算されます。(バッテリーの残容量と使用可能残日数は異なります)

- 計測間隔
- 接続されているセンサの数

バッテリー寿命は多数の要素に左右されますので、計算された使用可能残日数はあくまで予想値として参考にしてください。

下記の事項はバッテリー寿命を短くするマイナス要素となります：

- LEDの長時間にわたる点灯
- SDカードからの頻繁なデータ読み出し(数回/日)
- 操作環境温度の極端な変動

※バッテリーが新品の場合でも、設定によって使用可能残日数が数十日程度の表示になることがあります。

下記の要素はバッテリー寿命を延ばすプラスの影響を与えます。

- ディスプレイのオフ

データ・ログのディスプレイに表示される使用可能残日数は、計算値です。しかし、使用可能残日数が限界レベルに達すると、データ・ログの電源は切れますが、次のような対策が講じられます。

- 使用可能残日数が“空”と表示されていても、計測値はそのまま保持されます。
- 使用可能残日数の表示が直前まで“あり”と表示されていても、計測プログラムは停止します。

バッテリーが空になった、あるいはバッテリーの交換を行っても、保存されている計測値はそのまま残ります。

4. 初期操作

4.1 データ・ログのロック解除



1. キーを使用してロックを解除します。(1)
2. ロック用ピンからロック用鍵(2)を取り外します。
3. 壁掛け用ブラケットの穴からロック用ピン(3)を引き出します。
4. 壁掛け用ブラケットからデータ・ログを取り去ります。(4)

4.2 バッテリーの挿入

i -10℃以下の温度計測を行う場合は、エナジャイザー製 L92単4型(低温用リチウム電池)を使用してください。

1. データ・ログを裏返しにして置きます。



2. データ・ログ裏面のネジを緩め、取り外します。
3. バッテリー・ボックスのカバーを取り外します。

4. バッテリ(単4乾電池)を挿入します。極性を間違えないようご注意ください。 ※電池交換の場合は、古い電池を抜いた後10秒程 置くか5~10回GOボタンを押して画面から文字が完全に消えるまで放電を行ってください。古い電池の電圧が残った状態で交換をすると、電池残量アイコンがフル表示になりません。
5. バッテリ・ボックスのカバーを取り付けます。
6. ネジを締めます。
ディスプレイに「5t」が表示されます。

4.3 データ・ログとPCの接続

testo ComSoft 5 Basic ソフトウェアの場合：

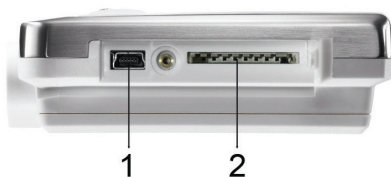
登録が必要ですが、このソフトウェアはインターネットを介してtesto社のホームページから無料でダウンロードできます。

アドレス：<https://www.testo.com/ja-JP/>

i ソフトウェアのインストールや操作に関する説明は、testo ComSoft 5 Basic操作マニュアルに掲載されています。操作マニュアルもソフトウェアと共にダウンロードできます。

testo ComSoft Professionalおよびtesto ComSoft CFRの場合：

1. testo ComSoftソフトウェアをインストールします。
2. USBケーブルをPCのUSBポートに接続します。
3. データ・ログの右側面にあるネジを緩めます。
4. カバーを開けます。



5. USBケーブルをMini USB ポート (1) に挿入します。
6. データ・ログのシステム設定については、testo ComSoftの説明書を参照してください。

5. ディスプレイとGoボタン

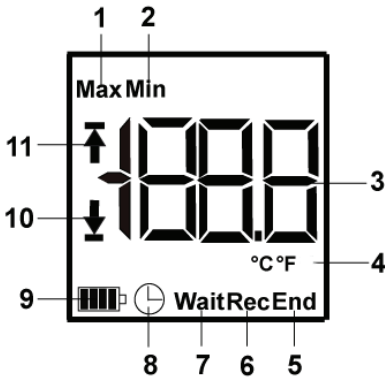
5.1 ディスプレイ

i ディスプレイのオン/オフは testo ComSoftソフトウェアからも可能です。






データ・ログの状態に応じて、さまざまな情報がディスプレイ上に表示されます。これら情報の詳細は、21ページの「6.3 メニューの概要」を参照ください。

i 0°C以下になると、液晶ディスプレイの表示速度が遅くなります。（表示速度は-10°Cで約2秒、-20°Cで約6秒になる）これは技術的な理由によるもので、故障ではありません。計測精度への影響もありません。

testo 175 T1



- 1 保存計測値の最高値
- 2 保存計測値の最低値
- 3 計測値
- 4 計測単位
- 5 計測プログラムが終了
- 6 計測プログラムが稼働中（記録中）
- 7 計測プログラムはスタート待機中
- 8 計測プログラムを日時スタートで設定
- 9 使用可能残日数

アイコン	使用可能残日数
	151 日以上
	150日以下
	90日以下
	60日以下
	30日以下 > 計測データを読み出して電池を交換 (25ページの「6.6 計測データの読み出し」を参照ください。

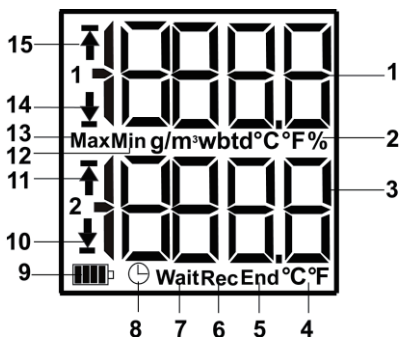
10 下限アラーム値記号:

- ・ 点滅: プログラムで設定されたアラーム値に達した。
- ・ 点灯: プログラムで設定されたアラーム値を下回った。

11 上限アラーム値記号:




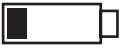

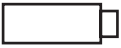
- ・ 点滅: プログラムで設定されたアラーム値に達した。
- ・ 点灯: プログラムで設定されたアラーム値を上回った。

testo 175 T2, testo 175 T3, testo 175 H1



- 1 チャネル1の計測値
- 2 チャネル1の計測単位
- 3 チャネル2の計測値
- 4 チャネル2の計測単位

- 5 計測プログラムが終了
- 6 計測プログラムが稼働中 (記録中)
- 7 計測プログラムはスタート待機中
- 8 計測プログラムを日時スタートで設定
- 9 使用可能残日数

アイコン	使用可能残日数
	151 日以上
	150日以下
	90日以下
	60日以下
	30日以下
	30日以下になったら、 > 計測データを読み出して、電池を交換してください。(25ページの「6.6 計測データの読み出し」を参照ください)

- 10 チャンネル2の下限アラーム値記号：
 - ・ 点滅：プログラムで設定されたアラーム値に達した。
 - ・ 点灯：プログラムで設定されたアラーム値を下回った。
- 11 チャンネル2の上限アラーム値記号：
 - ・ 点滅：プログラムで設定されたアラーム値に達した。
 - ・ 点灯：プログラムで設定されたアラーム値を上回った。
- 12 保存計測値の最低値
- 13 保存計測値の最高値
- 14 チャンネル1の下限アラーム値記号：
 - ・ 点滅：プログラムで設定されたアラーム値に達した。
 - ・ 点灯：プログラムで設定されたアラーム値を下回った。
- 15 チャンネル1の上限アラーム値記号：
 - ・ 点滅：プログラムで設定されたアラーム値に達した。
 - ・ 点灯：プログラムで設定されたアラーム値を上回った。

5.2 LED

項目	仕様
赤 LED が10秒毎に1回点滅	使用可能残日数が30日以下となった。
赤 LED が10秒毎に2回点滅	使用可能残日数が10日以下となった。
赤 LED が10秒毎に3回点滅	使用可能残日数がゼロとなった。
ボタンを押すと、赤 LED が3回点滅	アラーム値を下回った/上回った。
黄 LED が3回点滅	データ・ログが、待機モードから記録モードに変わった。
ボタンを押すと、黄 LED が3回点滅	データ・ログは記録モード。
ボタンを押すと、黄と緑のLED が3回点滅	データ・ログは終了モード。
ボタンを押すと、緑 LED が3回点滅	データ・ログは待機モード。
ボタンを押すと、緑 LED が5回点滅	GOボタンを長押しすると、タイム・マークが設定される。

5.3 Goボタンの機能

ディスプレイ画面の表示例は20ページの「6.3 メニューの概要」を参照ください。

ディスプレイに表示されている状態が **Wait** で、計測プログラムのスタート条件をボタン・スタートにしている場合：

- > **[GO]** ボタンを約3秒間押し続けると、計測プログラムがスタートします。
- 計測プログラムがスタートし、ディスプレイ上に **Rec** が表示されます。

ディスプレイに表示されている状態が **Wait** で：

- > **[GO]** ボタンを押すと、上限アラーム値、下限アラーム値、使用可能残日数、直近の計測値の順でディスプレイ表示が切り替わります。

ディスプレイへの表示はこの順番で行われます。

ディスプレイに表示されている状態が **Rec** または **End** の場合：

- > **[GO]** ボタンを押すと、保存計測値の最高値、保存計測値の最低値、上限アラーム値、下限アラーム値、使用可能残日数、直近の計測値などが、この順番で表示されます。

6. データ・ログの使用法

6.1 プロブ(センサー)の接続

プラグイン方式のプロブは、必ず電源を入れる前に接続してください。電源投入後に接続すると温度計がプロブを認識できません。

- > 接続プラグの極性を間違えないようにしてください。
- > プラグをポートへ確実に挿入してください。しかし無理な力を加えないでください。
- > プラグが確実にデータ・ログに接続されている、あるいはブランキング・プラグが挿入されていることを確認してください。
- > 正確な計測が行えるよう、センサーが正しい場所に配置されているか確認してください。
- > testo 175 T3のみ: testo ComSoftソフトウェアにより設定したシステム構成に従い、センサーをソケットに正しく接続しているか常に確認してください。接続番号はハウジング上に印刷されています。

6.2 データ・ログのプログラミング

データ・ログのプログラミングには、testo ComSoft ソフトウェアが必要です。登録が必要ですが、このソフトウェアはインターネットを通じてtesto社のホームページから、無料でダウンロードできます。

アドレス：<https://www.testo.com/ja-JP/>

i ソフトウェアのインストールや操作に関する説明は、「testo ComSoft 5 Basic操作マニュアル」に記載されています。この操作マニュアルはソフトウェアと共にダウンロードできます。

6.3 メニューの概要

i このメニューの概要には、testo 175-T2 データ・ログを例として、ディスプレイ表示例を示しています。

ディスプレイ表示はオンに設定し、各種の画面が表示されるようにします。ディスプレイ表示のオンは testo ComSoft ソフトウェアにより設定します。

ディスプレイ上の各種表示は、プログラムにより設定された計測間隔で更新されていきます。計測値に関してはアクティブとなっているチャンネルだけが表示されます。

チャンネルのアクティブ化は、testo ComSoft ソフトウェアを使用しても可能です。

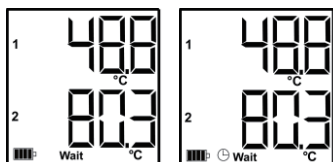
上限あるいは下限アラーム値記号は、計測プログラムが Wait あるいは Rec モードのとき、計測値がアラーム値を超えたり、下回った時に点灯します。

何のキーも押されない状態が10秒間続くと、ディスプレイは初期状態に戻ります。

待機モードの時：計測開始条件が設定されているが、その条件がまだ満たされていない場合。

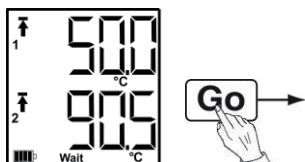
① 直近の計測値⁵

計測開始条件が
キー入力/PCスタート
のとき。



② アラーム上限値

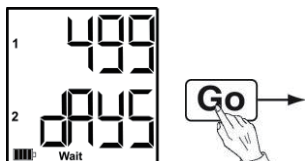
計測開始条件が
日付/時間のとき。



③ アラーム下限値



④ 使用可能残日数(単位：日)



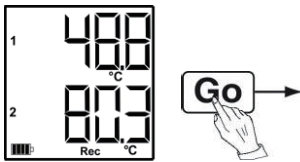
直近の計測値⁵(上図①)へ戻る。

⁵計測値は保存されていません。

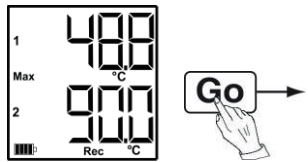
記録モードの時：計測開始条件が満たされ、データ・ログが計測値を保存しているとき。

終了モード：計測プログラムが終了（計測終了条件が満たされたとき－メモリ限界まで、あるいは計測回数指定などプログラミングにより異なる）

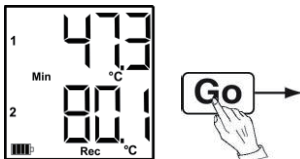
① 直近の計測値



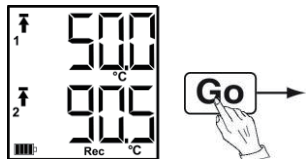
② 保存計測値の最高値



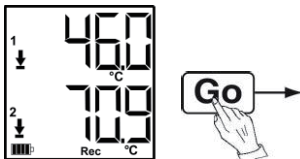
③ 保存計測値の最低値



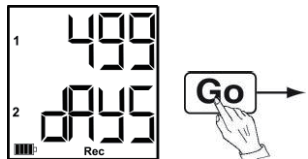
④ アラーム上限値



⑤ アラーム下限値



⑥ 使用可能残日数(単位：日)



直近の計測値（上図①）へ戻る。

6.4 壁掛けブラケットの取付け

i 取付け用金具（例えば、ネジ、ウォール・プラグなど）は、製品に同梱されていません。別途ご用意ください。

データ・ログと壁掛け用ブラケットは切り離しておきます。

1. 設置場所を決めて、そこに壁掛け用ブラケットを押し当てます。
2. ペン等を使用して、ネジ穴の位置に印を付けます。
3. ネジ穴の位置に下穴を開けておきます。
4. 適当なネジを使用して壁掛けブラケットを固定します。

6.5 データ・ログの保護



壁掛けブラケットは既に取り付けられているものとします。

1. データ・ログを壁掛けブラケットに挿入します。(1)
2. 壁掛けブラケットの穴を通して、ロック用ピンを挿入します。
3. ロック用ピンに鍵(3)をかけます。
4. キー(4)を抜き取ります。

6.6 計測データの読み出し

- i** 計測データを読み出しても、計測データはデータ・ログ内にそのまま残ります。したがって、何回でも読み出しが可能です。但し、データ・ログのプログラミングを新たに行うと、計測データは削除されます。

USBケーブルを使用する読み出し

1. USBケーブルをPCのUSBポートに接続します。
2. データ・ログの右側面にあるネジを緩め、取り外します。

- i** コインなどを使用して緩めてください。

3. カバーを開けます。



4. ミニUSBポート (上図1) にUSBケーブルを接続します。
5. データ・ログから計測データを読み出し、処理を行います。詳細は、testo ComSoft の取扱説明書を参照ください。

SDカードを使用する読み出し

1. データ・ログの右側面にあるネジを緩め、取り外します。

- i** コインなどを使用して緩めてください。

2. カバーを開けます。



3. SDカード・スロット (上図2) にSDカードを挿入します。
 - ディスプレイ上に **Sd** (testo 175 T1) または **SdCARD** (testo175 T2、testo175 T3、testo175 H1) が表示されます。

4. **[GO]** ボタンを2秒以上押し続けます。
 - ディスプレイに **COPY** (testo175 T1) または **COPY** (testo 175 T2、testo175 T3、testo175 H1) が表示されます。
 - 読み出しを行っている間、黄色のLEDが点灯します。
 - 緑のLEDが2度点滅し、コピーが終了すると、ディスプレイに **OUT** が表示されます。
5. SDカードを抜き取ります。
6. SDカードをPCのSDカード・スロットに挿入します。
7. 計測データの処理については、testo ComSoftの取扱説明書を参照ください。

7. データ・ログのメンテナンス

7.1 電池の交換

i 電池を交換すると、稼働中の計測プログラムは停止しますが、保存されている計測データはそのまま残ります。

1. 保存された計測データの読み出しに関しては、前ページの「6.6 計測データの読み出し」を参照ください。

電池の容量が低下すると、保存計測データの読み出しが停止します。

> その場合は、電池を交換してから、読み出しを行ってください。

2. データ・ログを裏返します。



3. データ・ログ裏面のネジを取り外します。
4. カバーを取り外します。

5. 空の電池を取り出します。
6. 新しい電池 (単4乾電池) を挿入します。極性を間違えないようにしてください。 ※古いバッテリーを取り外した後、10秒待つか、ディスプレイのインジケータが完全に空白になり、LEDが点滅しなくなるまで5~10回、GOボタンを押して完全放電を行ってください。

i 必ず新品の電池を使用してください。新品でない電池を挿入すると、使用可能残日数の計算が正しく行われませんので、ご注意ください。

-10℃以下の環境で使用するときは、バッテリー寿命を延ばすため、エナジャイザー製L92を必ずご使用ください。

7. 電池ボックスのカバーを電池ボックスの上に被せます。
 8. ネジを留めます。
- ディスプレイに **rSt** が表示されます。

i データ・ログの再設定が必要です。
PCへ testo ComSoft ソフトウェアをインストールし、データ・ログとPCを接続します。

9. USBケーブルを使用してデータ・ログをPCに接続します。
 10. testo ComSoftソフトウェアをスタートさせ、データ・ログとの接続を行います。
 11. データ・ログの再構成あるいは保存されている構成データをインストールします。詳細はtesto ComSoftソフトウェアの取扱説明書を参照ください。
- データ・ログが使用可能になります。

7.2 データ・ログのクリーニング

注意


センサが損傷する恐れがあります!

- > ハウジング内部に液体が入り込まないようにご注意ください。
- > データ・ログのハウジングが汚れたときは、濡れた布で拭いてください。

強力な洗剤や溶剤は使用しないでください。家庭用の洗剤や石鹸を使用してください。

8. トラブルシューティング

8.1 トラブルシューティング

エラー状態	原因/対策
ディスプレイに FULL が表示され、赤 LED が2度点滅して、 out がディスプレイに表示された。	SDカード上にデータを保存するための空き容量が充分にない。 > SDカードを取り出し、空き容量を増やしてから、データをコピーしてください。
ディスプレイに Errr が表示され、赤 LED が2度点滅して、 out がディスプレイに表示された。	SDカードにデータを保存中、エラーが発生した。 > SDカードを取り出し、空き容量を増やしてから、データをコピーしてください。
ディスプレイに nD dAtA が表示され、赤 LED が2度点滅した。	データ・ログには何のデータも保存されておらず、現在待機モードである。 > SDカードを取り出し、空データ・ログが記録モードになるまでお待ちください。
ディスプレイに rSt が表示された。 	この表示はreset (リセット) を意味します。バッテリーが交換された際や、電池残量が少ない際にこの状態になります。このままでは測定できないため、PCに接続し再度測定プログラムの設定を行ってください。 ※バッテリーを交換したにも関わらずリセットモードにならない場合、正確な電池残量計測ができません。一度電池を抜き取り、GOボタンを何度か押し完全放電を行ってください。
ディスプレイに ---- が表示された。	データ・ログのセンサが故障している。 > testoの販売代理店またはtesto社のカスタマー・サービス部門にご連絡ください。

本取扱説明書に記述されていない問題が発生した場合は、お買い上げの販売店またはtesto社サービスセンターへご連絡ください。

8.2 アクセサリとスペア・パーツ

製品名	製品型番
壁掛用ブラケット（黒）、ロック付き	0554 1702
ミニ USB ケーブル、testo 175 データ・ログと PC 間接続用	0449 0047
SD カード、testo 175 からのデータ読出し用	0554 8803
電池（アルカリ・マンガン単 4 型低温用乾電池） -10 °C 以下になるアプリケーション用	0515 0009
電池（エナジャイザー製 L92 単 4 型低温用リチウム電池） -10 °C 以下になるアプリケーション用	0515 0042
testo ComSoft Professional ソフトウェア収容 CD	0554 1704
testo ComSoft CFR ソフトウェア収容 CD	0554 1705
ISO 湿度校正証明書、 校正ポイント：11.3 %rH、75.3 %rH、+25 °C；チャネル/データ・ログ当たり	0520 0076
ISO 温度校正証明書、 校正ポイント：-18 °C、0 °C、+40 °C；チャネル/データ・ログ当たり	0520 0153

アクセサリ/スペア・パーツに関するより詳細な情報は、製品カタログあるいはテスト社のホームページをご覧ください。

M E M O

A series of horizontal dashed lines for writing.

保証規定

この規定は、株式会社テストーが提供する製品に共通して適用される基本的な保証規定です。取扱説明書及び測定器添付ラベル等の注意書きに基づく正常な使用状態及び使用環境のもとで使用されたにもかかわらず、保証期間内に測定器が故障した場合は、本保証規定に従い測定器の無償修理を行います。

但し、保証期間内でも次のような場合には、有償修理となります。

- 修理をご依頼される際に、保証書を提示いただけない場合
- ほこりが多い場所、湿度や温度が使用適用範囲を超えている場所等、環境条件が不適当な場所での使用に起因する故障・損傷の場合
- 保証書に保証期間、型番（型名）、製造番号、お買上げ日および販売店名の記入がない場合、又は保証書の記載が書き換えられた場合、その他保証書に事実と異なる記載がされていた場合
- お買上げ後の落下、衝撃、液体の侵入等による故障・損傷、又はお客さまの取り扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合
- 測定センサの経時劣化や電池寿命等の使用状況に大きく左右される事由で製品製造上の欠陥と証明できない不具合や故障の場合
- 有償交換部品（有寿命部品）又は消耗部品が自然消耗、磨耗、劣化等により交換が必要となった場合
- 当社指定外の消耗品の使用に起因する故障・損傷の場合
- 使用上の誤り、又は不当な改造もしくは分解掃除等、修理による故障・損傷の場合
（取扱説明書に記載されている分解や消耗品交換は除く）
- 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、又は異常電圧等の外部要因に起因する故障・損傷の場合
- 他社製品と接続していることが原因で生じた故障・損傷の場合

修理で依頼時には、本保証書を必ず添付の上、お買上げの販売店または当社サービスセンターにご送付ください。なお、送料は送付元ご負担にてお願いいたします。保証期間の開始は原則として製品ご購入日といたします。

修理は、製品の分解または部品の交換若しくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂くことがあります。本製品の故障に起因する付随的損害については補償いたしかねます。

保証書は、以上の保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証発行・履行者：株式会社テストー



保証書

品名	testo 175	検印
型番	0572 175	
シリアル番号		
保証期間	本体：2年	

販売店(店名、電話番号、住所) (販売日： 年 月 日)

- 上記の情報は、製品に関するお問い合わせや修理・校正の場合に必要となります。
- 修理をご依頼の場合は、まず修理申し込み WEB フォームよりご依頼内容を送信ください。その後必ず本保証書（またはコピー）を添付の上、お買い上げの販売店または当社サービスセンターまで送付ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

【修理申し込み PDF フォーム】

<https://bit.ly/3aP1Zl7>

【修理品送付先】株式会社テストー サービスセンター

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 7F

Tel: 045-476-2266 / Fax: 045-393-1863

email: rep_cal@testo.co.jp

株式会社 テストー

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター(修理・校正) TEL.045-476-2266 FAX.045-393-1863
- ヘルプデスク TEL.045-476-2547

ホームページ <https://www.testo.com> e-mail info@testo.co.jp